特別賞の表彰を受ける夢大使

鬼北の「きじ」で初の受賞

◎ふるさとＣＭ大賞えひめ

30秒のＣＭに町の魅力や自慢を込めて古里をＰＲしようという「ふるさとＣＭ大賞えひめ」の公開審査会が２月26日、松山市コミュニティセンターで行われ、県内全市町が参加しました。

特産の「きじ」をテーマに制作したＣＭで挑んだ本町は、年間20回放送される特別賞を受賞しました。

審査員からは「鬼北のきじを食べに行ってみたい」などと評価を受け、きじを県内に広くＰＲできたようでした。

この公開審査会は愛媛朝日テレビ主催。

人形劇を披露する劇団すぎのこ

子どもたちに人形劇披露

◎鬼北の里人形劇

「鬼北の里人形劇」は３月４日、近永公民館講堂で行われ、多くの親子連れが観賞に訪れました。

この日人形劇を披露したのは、全国各地の子どもたちに巡回劇場で人形劇を行っている東京都の「劇団すぎのこ」。

子どもたちは、劇団員の迫力あるセリフ回しと、巧妙に操られる人形の動きに目を奪われていました。また劇団員から子どもたちへの問いかけに大きな声で答える場面もあり、親子で人形劇を楽しんでいました。

特産品の販売をする夢産地と町の職員

都市部からの集客を願って

◎四国横断自動車道開通記念イベント

四国横断自動車道が宇和島市まで延伸されることを記念した「四国横断自動車道開通記念イベント」は３月４日、三間ＩＣ特設会場で行われ、大勢の人でにぎわいました。

特設会場には、延伸となる西予、宇和島間周辺の市町から多くの団体が出店し、本町は、きじ工房、道の駅森の三角ぼうし・日吉夢産地が出店しました。

今回の高速道路延伸を機に、都市部からの顧客を獲得しようと、参加者らはきじ料理や特産品を多くの人にＰＲしていました。

スパイクを打つ近永クラブ選手

鬼北町長旗かけて熱戦展開

◎第７回鬼北町長旗争奪バレーボール大会

「第７回鬼北町長旗争奪バレーボール大会」は３月４日、鬼北総合公園体育館で行われました。

今年は宇和島市や愛南町など近隣市町から８チームが参加しました。

新たに中学生もメンバーに加えて参戦した本町の近永クラブ。主力メンバーを欠くなど、厳しい戦いを強いられました。結果は４位と、惜しくも入賞することはできませんでしたが、どの選手も気持ちのよい汗を流していました。